

## 第65回京都大学11月祭における個人賛助導入の提案

## 1. 提案内容

第65回京都大学11月祭における新たな収入源として個人賛助制度を導入すること。  
(ただし、実務上の理由からこの提案内容の制度を実施しない可能性もある。)

## 2. 意義

11月祭において今までの収入の大半は公式Webサイトや公式パンフレットにおける広告掲載料である。

しかし、昨今の不況の影響により想定通りの広告収入が得られないことや物価上昇に伴う支出の増大が積み重なり、コロナ前とコロナ後で比較しても、支出は多少の増加傾向にある一方で、収入に関してはむしろ減少傾向にあると言える。こういった状況であるため、繰越金が底をつく可能性が高い。今後繰越金が底をついた場合、開催形態の大幅な変更を余儀なくされるなど実務において大きな支障をきたす可能性がある。11月祭事務局としては、このような事態を避けるために新たに収入源を増やし、これらに対応していきたいと考えている。

	決算収入(円) (繰越金含む)	決算支出 (円)	次年度繰越金(円)
第60回	15,863,730	12,700,322	3,163,498
第61回	14,448,829	12,332,416	2,116,413
第62回(オンライン)	5,442,127	2,332,473	3,109,654
第63回(オンライン)	8,390,881	3,512,745	4,878,136
第64回(規模縮小)	14,926,915	12,940,141	1,986,774
第65回(見込み額)	12,462,839	12,010,382	452,457

## 3. 内容

個人・一般から広く寄付を募る予定である。

詳細に関しては、承認が取れ次第実務上で効果を最大化できる運用方法を探る予定である。

11月祭事務局が運用しているTwitterやInstagramなどで個人賛助の広報を行い、11月祭公式Webサイトのフォームから賛助をしてくださる方に申し込みをしていただく。その後、申し込みをしてくださった賛助者に対して、振込方法などの具体的な資料をメールにて送付または郵送する。賛助者にはその資料をもとに振込をしていただく予定である。